

選挙公報掲載文

*受付日時 月 日 時 分

注 意

一、氏名欄に記載する候補者の氏名は、当該選挙の選挙長の認定した通称があるときは、その通称を記載し、又は記録すること。
二、※印の欄については、候補者は記載しない、又は記録しないこと。

【プロフィール】

- 1955年 ●9月10日生まれ(69歳)
- 1982年 ●作新学院にて江川卓氏とバッテリーを組み甲子園出場
- 1982年 ●建設相・農相を歴任した父・亀岡高夫の補佐を始める
- 1987年 ●早稲田大学野球部助監督就任
- 2005年 ●第44 回衆議院総選挙にて初当選
- 2018年 ●衆議院文部科学委員長
- 2019年 ●文部科学兼内閣府副大臣
- 2020年 ●復興副大臣
- 2022年 ●北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会委員長
- 2023年 ●衆議院政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会委員長

家族構成 妻、長女、二女、長男(孫1人)
趣味 スポーツ(特に野球)
高校時代にオールジャパン選抜出場
尊敬する人 父・亀岡高夫、
中條高德(アサヒビール元会長)
座右の銘 「無私情熱」

福島に夢を！ 夢をカタチに！！

Step1

～地方を元気にし～

日本を支えている中小企業の「稼ぐ力」を強化するため、生産性向上・省力化支援を進めます。福島の基幹産業である「農林水産業」の、輸出拡大へと繋がります。食料安全保障を強化し、収益力向上への予算増額と構造転換を目指します。

Step2

～日本の誇りを取り戻し～

国の宝は「人」であり、世界に誇れる日本特有の倫理観・道徳観を継承する教育をします。高等教育の無償化を進め、人材の育成を推進します。高齢者が生き生きと暮らし、明るい未来を描けるよう、全世代型少子高齢化対策を行います。

Step3

～福島を世界に発信する！～

国民の命をしっかりと守るため、将来の感染症対策・国内製薬産業強化に向け、医薬安全保障議員連盟を立ち上げました。高付加価値化に必要な予算を確保し、福島の魅力PRを強化し、観光業の地位向上に努めます！



二本松・南達

「国道4号線安達ヶ原入口交差点改良事業」について、地元2人の県議会議員と力を合わせて国土交通省へ要望。調査設計実施の予算を獲得、いよいよ事業が進められることとなる。

伊達

地震で大きく被災した伊達橋と伊達崎橋。いち早く現地を視察、知恵を絞り官邸へ要望。結果、伊達橋は国の「直轄権限代行」、伊達崎橋は「修繕代行事業」での復旧が決まる。それにとどまらず、財務省他多方面へ働きかけ、異例の速さで仮橋が開通。

福島

就学前教育・保育施設整備交付金が想定より早期に国の予算上限に達し、公募の継続が危ぶまれた。中核市町会長の福島市長が中核市データを一早く調査、共に財務省へ働きかけ、予算確保へとつなげる。また、野球人生を生かし、市民念願の古閑裕而氏野球殿堂入りに尽力。

全ての世代の Well-being を目指して・・・

日本は課題先進国

それは、日本が世界に先んじて社会課題解決できるということ

それを福島からしめす

この3年間の活動をWEBにてご覧ください。

普段の活動をお知らせしています



<https://kameokayoshitami.com/>

KAME CHANNEL



六十九才

亀岡よしたみ

自民党公認

候補者氏名	亀岡 偉民
連絡の場所及び電話番号	